



読書数ランキング

2021. 4. 9

~2021. 11. 30

順位	クラス	貸出冊数	順位	クラス	貸出冊数
1位	2年3組	228冊	6位	1年2組	89冊
2位	3年5組	164冊	7位	1年6組	80冊
3位	3年2組	154冊	8位	1年5組	61冊
4位	3年9組	95冊	9位	1年8組	56冊
5位	3年7組	91冊	10位	1年9組	52冊

★本日12月15日(水)から、冬休み **特別貸出** 実施します。★ 最長で
★一人10冊まで、★返却日:2022年1月11日始業式の日 ← 28日間 借りられます

踏み出せ 新しい世界へ 知の航海へ! 新着「岩波ジュニア新書」を読もう!

『はじめての哲学』 岩波ジュニア新書



藤田正勝 / 著
 なんのために生きるのか? と考える自分とはなんだろう? 「自己」「生と死」「真理」「实在」「言葉」古代から現代まで、人間が考え挑み続けてきた根源的な問いの数々を、やさしい言葉で一から解きほぐします。予備知識は不要です。ようこそ、哲学へ。

『AIの時代を生きる』



美馬のゆり / 著
 AIの存在感が増し、便利な暮らしへの期待や憧れが高まる一方で、仕事を奪われる不安に揺れる現代人。人間とAIの未来はどうあるべきなのか。未来をデザインする創造力と共感力

『SDGs時代の国際協力』



西村 幹子 / 著
 アジアで共に学校をつくる子どもたちの「学校に行きたい!」を支えて一バンクラデシュで学校づくりに取り組んできたNGOの活動を、日本からの参加者・現地の生徒たちの声とともに紹介します。

『確かめてナットク! 物理の法則』



ジョー・ハルマンス / 著
 ロウソクの光とLED、どっちが効率が良い? 太陽が地球に一番近い1月が寒くなるわけは? 日常にふと感じる疑問に答えるのが物理学の本当の使い方。公式を覚えるだけじゃつまらない。物理学の醍醐味をお伝えします。

『コミュニケーション力を高めるプレゼン・発表術』



上坂 博亨 / 著
 社会で求められるコミュニケーション力。そしてプレゼンテーションは必要不可欠な「自己表現」の手段です。スピーチの基本、相手を動かすプレゼンについてわかりやすく解説します。

『国語をめぐる冒険』



渡部 泰明 / 著
 国語には、未知の世界や存在が溢れています。新しい自分、他者、言葉との出会い、そして成長への機会が待ち受けています。学ぶ意味や楽しさだけでなく、国語を使ってどう生きるかを、「冒険」をモチーフに語ります。

『こころと身体の心理学』



山口 真美 / 著
 SNSやバーチャルリアリティが普及し、身体のとらえ方は多用化している。一方でリアルな痛みは自分の存在を実感させ、他者の痛みにも気づかせてくれる。第一線の科学者が自身の病とも向き合って解説した、今を生きるための身体論。

『自分を励ます英語名言101』 小池直己・佐藤誠司 / 著

『食べものから学ぶ世界史』人も自然も壊さない経済とは 平賀緑 / 著

『森の日本史』これからの森との共生を考える 黒瀧秀久 / 著

『ゲッチョ先生と行く 沖縄自然探検』盛口 満 / 著

『10代の本棚 こんな本と出会いたい』あさのあつこ / 著

『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生!』上野千鶴子 / 著

10代の青少年のために、様々な分野・知識への案内・入門として、わかりやすく解説した「岩波ジュニア新書」「ちくま新書」「講談社新書」は、約1000冊そろえています。好きなジャンルの本を読んで、知識を深めよう。

『おまえなんかは会いたくない』 乾 ルカ / 著
中央公論新社
高校卒業から十年。タイムカプセルの開封する同窓会の案内が届いた。SNS も立ち上がり、近づく同窓会。しかし、当時、いじめが原因で転校していった生徒のことが波紋を呼ぶ。その生徒が、タイムカプセルに入れたものとは！？



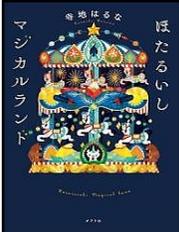
『ばいばい、バッグレディ』 マニー・ジョンビー / 著
高校2年生の相川あけびは両親を恨んでいる。自分を捨てて母は台湾で女優になり、父は袋を大量に抱えた老人・バッグレディを家に連れて来た！この人が父の命の恩人！？ やがて明らかになるバッグのふしぎな中身とは？



『不滅の子どもたち』 集英社
クロエ・ベンジヤミン / 著
ゴールド家の4人の子供たちは、幼いころ、近所の古い邸に会いにいき、自分が死ぬ日を告げられる。その後4人は生物学者、軍医、マジシャン、ダンサーと、それぞれの道に。これは、予言された「あの日」に繋がる道なのか。アメリカでベストセラー、話題の書。



『ほたるいしマジカルランド』 ポプラ社
寺地 はるな / 著
老舗遊園地「ほたるいしマジカルランド」。「うちはテーマパークではなく遊園地」と言い切る名物社長を筆頭に、人々が動いている。お客様に笑顔になってもらうため、従業員は日々奮闘中。

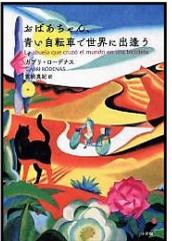


そんな ある日 社長が入院したという知らせが入り、従業員に動揺が走る。

『エムエス』 今野敏 / 著 講談社
学園祭でのミスコン 反対運動を推進する女子学生・高樹晶がキャンパスで襲撃された。思い込みと手柄のため暴走する警察。恩師のピンチに5人のゼミ生が立ち上がる！大好評の「女子大生×警察」小説。



『おばあちゃん、青い自転車で世界に出逢う』 ガブリ・ローデナス / 著
天涯孤独、90歳のマルおばあちゃんは、手作りのお菓子を持って暮らしていた。ある日、遠く昔に別れた一人息子がすでにこの世にいないこと、自分に孫息子がいることを知る。マルは青いおんぼろ自転車で孫をさがす旅に出る



『風は山から吹いている』 二見書房
額賀濤 / 著
スノ・ウライソンの選手だった岳は、大学で得意の登山部に入ってしまう。山を登ったある日、岳のスマホに高校時代のコーチからの着信があった。一言電話。その後、知らされた恩人の滑落死。山岳ミステリー。



『ミカエルの鼓動』 文藝春秋
袖月裕子 / 著
心臓外科医に託された少年の命。手術支援ロボット「ミカエル」を推進する心臓外科医とドイツ帰りの天才医師。難病の少年の治療方針をめぐる二人は対立する。命の意味を問う



『ラスト・フレンズ』 静山社
ヤスミン・ラーマン / 著
わたしたちの最後の13日間
誰にも言えない思いを抱えた16歳の少女たちが出会ったのは、あるマッチングサイトだった。



『レフトハンド・ブラザーフッド 上・下』 知念実希人 / 著 文藝春秋
高校生の岳土は、バイクに同乗していた双子の兄・海斗を事故で亡くして以来、左手から兄の音が聞こえるようになる。家出した2人は殺人事件に巻き込まれる。



『僕と君の365日』 優衣羽 / 著
毎日が無難に過ごしていた新藤蒼也は美少女・立波緋奈と隣の席になる。だが、その矢先「無窮病」一色彩が失われ、やがて死に至る。病気がなくなったことを知る。そんなとき緋奈が「死ぬまで彼女になってあげろ」と約束してきて…



『夜が明ける』 西加奈子 / 著 新潮社
思春期から33歳になるまでの男同士の友情と成長、そして変わりゆく日々を生きる奇跡。まだ光は見えない。それでも僕たちは、夜明けを求めて歩き出す。貧困、虐待、過重労働



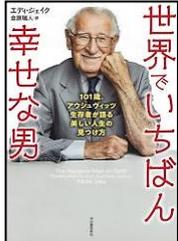
『探偵AIのリアル・ディーブラーニング』 早坂 吝 / 著 新潮社
人工知能の研究者だった父が、密室で謎の死を遂げた。高校生の息子・輔は、探偵のAI・相以(あい)とともに父を殺した真犯人を追う



『闇 破』 やみはら / KADOKAWA
辻村深月 / 著
「うちのクラスの転校生は何かがおかしい」クラスになじめない転校生・要に、親切に接する委員長・濤。しかし、そんな彼女に要は不審な態度で迫る。ノットストップ ホラーミステリ



『世界でいちばん幸せな男』 ティ・ジェイク 著
101歳、アウシュヴィッツ生存者が語る美しい人生の見つけ方。強制収容所に送られ、家族を殺された壮絶な体験から導き出したのは希望だった。人間が持つ絶望の淵から立ち上がる力を全世界に訴える感動の一冊。



『このひと皿にめぐりあうとき』 福澤 徹三 / 著 光文社
1946年戦禍と2020年コロナ禍を生きる17歳。ふたりの過酷な青春が74年の時を経て、鮮やかに交錯する。



『武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』 宮田 律 / 著
2019年12月、アガスタで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたってアガスタとアガッで人道支援にあたった生涯をたどり、その生き方を通して平和の意味を考える



『はじめ アルゴリズム』 (全10冊) 作・三原和人 講談社コミック
見えない世界を数学で解き明かしたい少年ハジメと老数学者との出会い。読めば 数学がちょっと好きになる。世界の見え方が変わってくる。天才少年成長物語

